

説明資料

3 本県県立高校「専門学科」の取組

○ 設置

- ・ 産業教育振興法第11条の規定に基づき設置
- ・ 産業教育に関する学識経験がある者，関係行政機関の職員，その他特に必要と認められる者からなる15人の委員で構成

○ 目的

- ・ 産業教育の在り方や活性化等について審議
- ・ 審議会の意見をもとに各部会が設置する専門部会で，今後の取組等を検討する際の参考としている。

○ 令和6年度の意見（抜粋）

- ・ 産学官連携において，現場のプロフェッショナルな技術を実際に見聞きし，実技的な体験ができるような授業が必要
- ・ 生成A I等の先端技術は，これからの社会に欠かせない技術であり，高校での学びに取り入れることも必要

■ 郷土教育推進事業「地域を担う次世代人材育成プロジェクト」

○ 目的

地域を担う次世代人材を育成するために、**産学官連携によるコンソーシアムを構築し、地域を題材とした探究的な学びや、専門的職業人材育成を実践**する。その過程を通じて、郷土に愛着を持ち、地域ならではの新しい価値を創造する人材を育成するとともに、地域振興の核としての高校の一層の機能強化を目指す。

○ 期待される効果

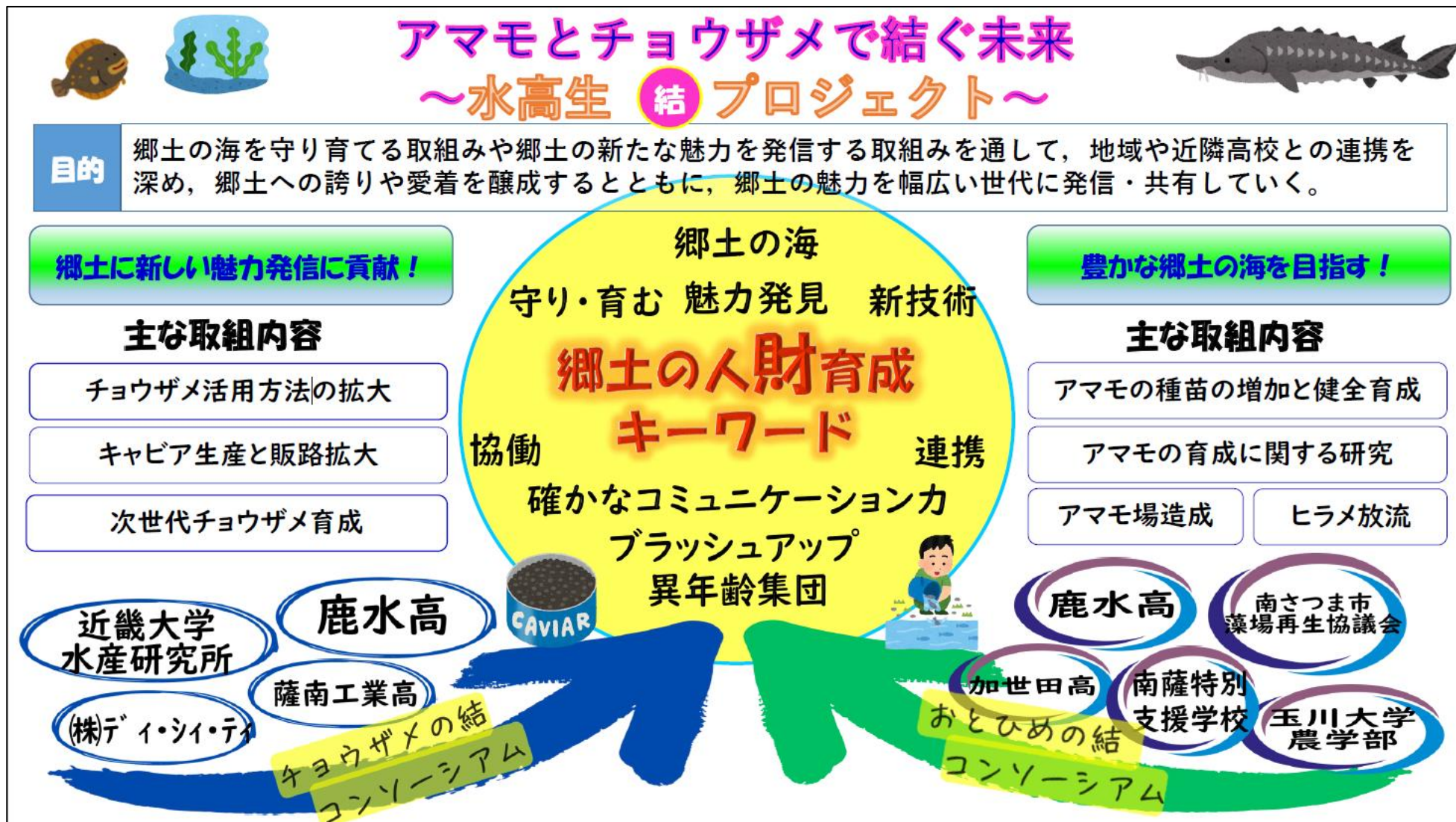
- (1) 地域ならではの新しい価値を創造する人材の育成
- (2) 地域の専門人材の活用等による実践的な職業教育の充実
- (3) コンソーシアムの構築やコーディネーターの活用等による
高校と地域との連携強化
- (4) 地域における魅力ある高等学校づくりの推進
- (5) 地域資源の活用による起業意識の醸成

○ 令和7年度 指定校（4校）

⇒ 鹿児島水産，隼人工業，鹿児島南，大島北

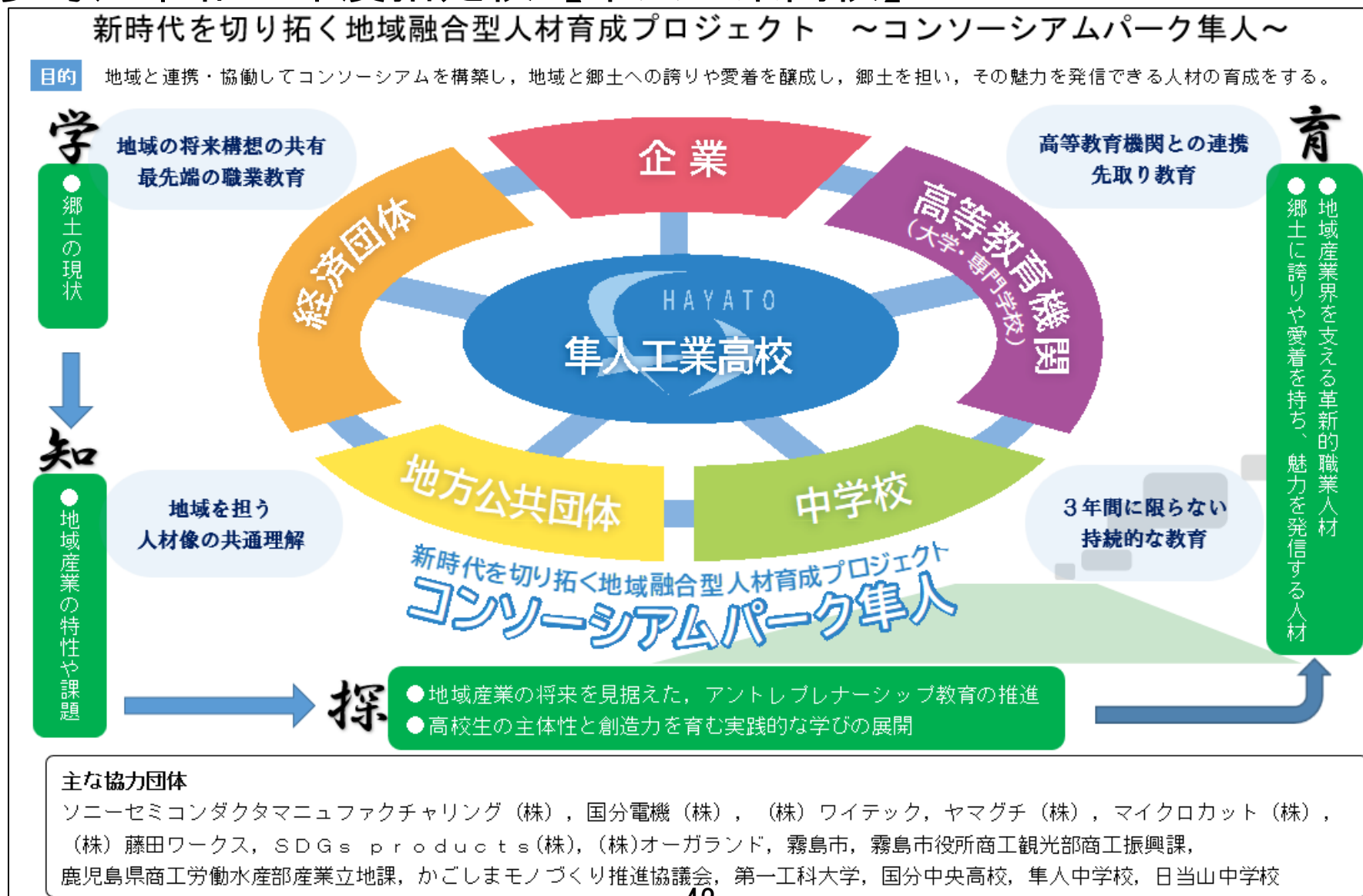
郷土教育推進事業「地域を担う次世代人材育成プロジェクト」

(参考) 令和7年度指定校【鹿児島水産高校】



■ 郷土教育推進事業「地域を担う次世代人材育成プロジェクト」

(参考) 令和7年度指定校【隼人工業高校】



■ 高等学校 D X 加速化推進事業（専門高校の事例）

○ 内容（専門高校に関する内容の抜粋）

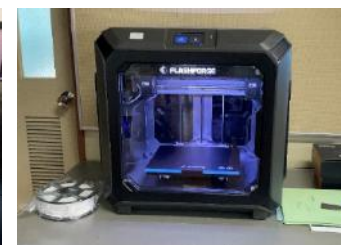
- ・ デジタルを活用した課外活動又は授業を実施することによる専門教科等の教育内容の充実に係る経費の支援

○ 専門学科を設置する採択校 …（ ）内は大学科名

- ・ 基本類型（12校）
 - ⇒ 鹿児島工業（工），山川（農・その他），鹿児島水産（水），市来農芸（農），川内商工（工・商），薩摩中央（農・福），蒲生（商），加治木工業（工），隼人工業（工），垂水（家），種子島中央（商），喜界（商）
- ・ プロフェッショナル型（1校）
 - ⇒ 加世田常潤（農・福）



ハイスペック PC での動画編集



3Dプリンタ

○ デジタル機器を用いた取組事例

- ・ ハイスペック PC での動画編集やゲーム制作
- ・ 3Dプリンタによるキャラクター人形の製作 等



高等学校DX加速化推進事業（専門高校の事例）

○ 加世田常潤（農業・福祉）… プロフェッショナル型

〔食農プロデュース科〕DXで切り拓く次世代農業

園芸DX

デジタル化で農業が楽しく儲かる

メロンの糖度測定



甘さ食べごろが瞬時にわかる

非破壊糖度計



果物に光を当てて、そこから戻ってくる光を分析して、糖度をデジタル化することで、収穫のタイミングがわかり、安定した品質を提供できる!

ハウス環境管理システム



いつでもどこでもハウスの中がよくわかる!

クラウド型モニタリングシステム



タブレットやスマートフォン端末で、ハウス内の温度や湿度などがリアルタイムで確認でき、栽培管理や品質管理が適切に行うことができる。

畜産DX

畜産実習のDXを実現して経験値アップ

妊娠鑑定



技術の見える化

超音波画像診断器



エコーを使った検査は、動物の健康管理や検診などに役立ちます!

農場を手のひらに



経営管理の効率化

牛群管理システム



スマートデバイスを活用して農業の働き方改革やデータの共有で技術力や収益UP・経営改善に役立ちます

DX化

アプリ内で一括管理を行いスマート農業科

校内、農場

無農薬水耕栽培

イラストデザイン



メッシュWi-Fi



室内管理で野菜栽培



新商品をプロデュース

〔生活福祉科〕福祉×DXで広がる可能性

スマートグラスを活用した買い物支援

スマートグラスで利用者さんと視界を共有できるから、遠隔でも一緒に商品を選べるんです!買い物の自由が広がると感じました。



眠りSCANで利用者の状況に応じた訪室

眠りSCANで睡眠データを把握することで、利用者さんに合ったタイミングでケアを提供できます。効率的で質の高い支援が可能に!



DFreeで排泄予測、排尿誘導

DFreeは排泄タイミングを予測してくれるから、利用者さんがトイレの心配をせずに安心して過ごせます!予防的ケアが実現できるのがすごい。



観察のポイント、介護に関する指導を遠隔で行う

スマートグラスを通じて、正しい介護技術の動画を見ながら実践できます!さらに、職員がどこを観察しているかをタブレットで確認できるので、指導の質が大きく向上します。



DXハイスクール 取組事例



鳥取県立倉吉農業高等学校
(公立・農業科)

「鳥取・倉吉に農業分野の新たな価値を創造する」

取組

「そうのうDXラボ」を拠点とした農業DXの推進



従来から実施してきたスマート農業の取組（ロボット田植え機による田植え、ドローンによる農薬散布など）に加え、複数の大型モニター、高性能PC、高性能カメラ、3Dプリンタなど、最先端の情報機器を整備した「そうのうDXラボ」を設置し、スマート農業に関する取組を深化するとともに環境・建設分野におけるDX活用教育を推進する。



※画像は全てイメージ



地元の農家、企業、官公庁、大学との連携を密に行うとともに、鳥取県内のみならず全国の専門家とつながり、リモート制御やプログラミングの技術を身に付け、それらを活用し農業に関する課題を探究する。



校内の広大な敷地を一元管理し、そこから得られるデータ等を分析することを通して、高度な農業技術、効率的な経営を学習。将来的にはそのノウハウを各農家へ普及する。



倉吉市が取り組んでいるメタバース空間「バーチャル倉吉」と接続し、メタバース空間を利用した生産物の販売、農家・企業との情報交換をはじめとした連携を行う。

他機関との連携等による教育の充実



- ・ 校内にDX推進チームを組織し、学校全体で円滑かつ効果的に取組を推進する体制の構築。
- ・ 実践をもとに、2年生を対象とした学校設定科目「あぐりデジタル活用（仮）」の開設。
- ・ 鳥取短期大学・福山大学等と連携したプログラミングをはじめとした高度な実践指導や、教員対象のセミナー、講義の受講を継続的に実施。

育成する生徒像・取組による効果



データサイエンス、ICTなどを活用し、地域の課題を解決しようとするデジタル人材の育成

情報Ⅱの内容も含む「あぐりデジタル活用（仮）」を開設し、全生徒が履修。（令和8年度～）

農業高校の学びの充実懇話会

【事業背景及び目的】

- 農業が基幹産業である本県において、農業高校への入学者数は減少傾向にあり、農業や農業関連産業を支える人材の確保・育成が喫緊の課題となっている。
- 近年の農業における生産・流通・経営の多様化やスマート農業等の技術革新に対応した農業教育が必要である。
- 農業高校の学びの充実について有識者による懇話会を開催し、今後の農業高校の施策へ生かす。

農業高校の学びの充実懇話会

有識者による懇話会の開催

【構成委員】

大学等
企業・農業法人等
行政
農業高校校長

【実施回数】

令和6年度中に4回開催



【農業高校の学びの充実検討委員会】

【検討内容】

- ・ 農業高校の現状と課題の整理
- ・ 技術革新に対応した農業教育の方向性
- ・ 今後の農業教育の充実に向けた方向性
- ・ かごしまの農業を支える人材育成 等



農業教育の方向性

教育内容の充実

教育環境の充実

地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人の育成

～ 懇話会で出された意見（一部抜粋） ～

(1) 農業高校の現状と課題

高校の特色をもっとPRし、中学生やその保護者に対して高校の魅力伝えるべきである。特に農業高校のように普通高校では学べない分野があることを知らせることが必要である。

(2) 教育内容の改善・充実について

農業高校の教育内容を充実させるために、学校の学びをコーディネートする人を配置することが必要ではないか。そうすることで、地域とのコミュニケーションや研修、視察等の段取りも充実し、継続性が生まれるのではないか。そのようなシステムを構築できればよいと考える。

(3) 教育環境の改善・充実について

教員は専門性が高い仕事であり、自分の専門を高めることも必要であるが、それだけではなく、農業に関して必要な総合的な知識を身に付けることも大切である。例えば、農業を食料産業として総合的にとらえた上で、教育の方向性を考えられる現場のコーディネート力を備えた人材の育成も重要ではないか。

人口減少が進む中、計画的に農業高校を減らすことも必要ではないか。学校の運営・維持のためのコストを考えても、農業高校の集約化は必要と考える。

(4) その他

農業高校の入学者数減少については懸念されているところであるが、農業高校の重要性を理解してもらうためにも、「食」の大切さを、地域ぐるみで子どもたちや保護者世代にも認識を高めてもらうことが必要。農業県だからこそその食農教育の取組を充実させることが必要。

■ かごしまの食と農を未来につなぐ農業教育推進事業①

〔概要〕

小中学生を対象に農業の魅力を伝える機会を設けるとともに、農業高校生を対象とした国内外の現地研修を実施し、技術の高度化やグローバル化に対応できる視野の広い農業担い手や農業関連産業を支える人材を育成するほか、農業教員の技術及び指導力向上のための研修を実施する。

(1) 農業高校生の海外研修	(2) 農業教員のスマート農業研修	(3) 農業高校生のコラボレーションチャレンジ
〔目的〕 海外における日本農畜産物等の輸出事情や本県の販路拡大に向けた取組等について知る機会とするとともに、広い視野を持つグローバルな視点を育み、将来の本県農業を担う人材育成を図る。 〔内容〕 海外進出している本県農業法人や農業関係施設等の視察、4泊5日程度 〔対象〕 農業系学科を有する高等学校に在籍する2・3年生 〔令和6年度実績〕 研修先：ベトナム（ハノイ） （農業大学、日系スーパー等） 参加者：生徒3人・教員1人	〔目的〕 農業高校に配備されているドローン等の活用を図るため、スマート農業関連機器の研修を実施し、農業高校教員の技術及び指導力の向上を図る。 〔内容〕 ドローン等に関する基礎知識、法令講習 〔対象〕 農業高校教員2人程度 〔令和6年度実績〕 研修内容等：ドローン講習（5日間） 参加者：教員2人 （年度ごとに各学校に割当）	〔目的〕 産業界や大学等と連携した地域課題解決等に向けたプロジェクト学習やスマート農業技術を活用した取組等を実践することで、新しい価値を創造するイノベーション人材育成を図る。 〔内容〕 農業高校と産業界や大学等が連携し、地域農業について生産技術・流通改善プロジェクトやスマート農業技術を活用した「課題解決型」の学習を実施 〔令和6年度実績〕 指定校：種子島高校生物生産科 「地域資源を活用した新商品作り！」 ～パッション(情熱)で地域を盛り上げる～ （地元企業等と連携した取組）

■ かごしまの食と農を未来につなぐ農業教育推進事業②

〔概要〕

小中学生を対象に農業の魅力を伝える機会を設けるとともに、農業高校生を対象とした国内外の現地研修を実施し、技術の高度化やグローバル化に対応できる視野の広い農業担い手や農業関連産業を支える人材を育成するほか、農業教員の技術及び指導力向上のための研修を実施する。

(4) 農業高校生の アグリビジネス視察研修	(5) 農業高校生の アグリビジネス出前授業	(6) 農業高校の 農産物ブランド化プロジェクト
〔目的〕 スマート農業や6次産業化等のアグリビジネスを展開している農業法人等で現地研修を実施し、農林業に対する興味・関心を高める。 〔内容〕 農業高校1年生を対象に、農林業経営者等の経営や、AI、スマート農業等を導入している企業や関連施設の視察の実施 〔対象〕 農業系学科を有する高等学校に在籍する1年生 〔令和6年度実績〕 参加者：8校・延べ339人 訪問事業所等：延べ43団体	〔目的〕 活躍している農林業経営者等の出前授業を実施し、農林業への魅力等を認識し得る機会とするとともに、安定的な食料生産の必要性や農業のグローバル化への対応など、農業教育の一層の充実を図る。 〔内容〕 スマート農業やGAP、HACCP、6次産業化等に関する出前授業の実施 〔対象〕 農業系学科を有する高等学校に在籍する2・3年生 〔令和6年度実績〕 参加者：7校・延べ248人 講師：延べ14人	〔目的〕 農業高校生が専門家と農産物の高付加価値化に取り組むことで、生産物のブランド化を図り、「稼ぐ農業」を実現できる人材の育成を図るとともに、教員の指導力向上も図り、農業教育の高度化を実現する。 〔内容〕 外部講師による包括的教育プログラムの実施、高付加価値を図る生産物の魅力や価値の分析、ブランド名、ロゴマークの制作 〔対象〕 県立の農業系学科を有する高等学校1校 〔令和7年度から実施〕 指定校：鹿屋農業

かごしまの食と農を未来につなぐ農業教育推進事業

どうが
動画で知ろう!
のうぎょうまなみりよく
農業の学びの魅力

魅力発見!
鹿児島県の農業高校で

タガヤセ
青春

まずは、
ショート動画
から!

えんがい 園芸系
ちくさん 畜産系
しょくひん 食品系
どぶく・りんぎょう 土木・林業系
せいかつ 生活系

農業高校の5種類の分野を紹介しています。

ショート (60秒)
ミドル ダイジェスト版 (3分42秒)
ロング 本編 (18分16秒)

手軽に観たい人は、こちらへ!

「じっくりと観たい人」はこちら!

農業高校で学ぶ
高校生たちの生の声
をお届けしています!

鹿児島県教育委員会 高校教育課

○「農業高校の魅力発信」事業

(令和6年度まで)

- 農業高校の授業や実習内容を伝えるPR動画を制作し、広く発信活動を実施することで農業への理解と進路に対する意識の高揚を図る。
- ショート(60秒) スマホ版(縦画面)
ミドル(3分42秒) (横画面)
ロング(18分16秒) (横画面)
- 県内の小中学校へ周知し、進路学習等の機会に活用し、農業への理解を深められるよう依頼している。

○ 概要

県内5地区において、地域の各専門高校の学習成果の展示・発表等を行うことにより、専門高校の魅力や役割を広く地域に紹介し、小・中学生の進路選択の意識を高める。

○ 事業内容

- (1) 「鹿児島・日置地区」，「南薩地区」，「北薩地区」，
「姶良・伊佐地区」，「大隅地区」の5地区で開催
- (2) 農業・工業・商業・水産・家庭・看護・福祉・総合学科
ごとにブースを設置し，展示や中学生等が体験的に各学科
の学びを知ることができる体験活動を実施
例：農業…フラワーアレンジメント，工業…ドローン操作，
商業…プログラミング体験，家庭…小物製作 等
- (3) 各部会ごとに生徒による学科紹介(発表)を実施
- (4) 職業理解を図ることを目的として，事業所ブースを設置

地区専門高校フェスタ

○ 令和6年度 開催状況

「鹿児島・日置地区」	参加校	12校,	参加者	1,489人
「南薩地区」	〃	7校,	〃	626人
「北薩地区」	〃	11校,	〃	483人
「姶良・伊佐地区」	〃	8校,	〃	361人
「大隅地区」	〃	9校,	〃	637人

(合計) 延べ **47校**, 延べ **3,596人**

※ 参加者は、小・中・高校生・一般等含む

○ 参加した中学生の声（一部抜粋）

- ・ 専門高校で学びの内容をたくさん体験したり、詳しい説明を聞いたりして、将来の仕事を具体的に想像できた。専門高校で学べることは、すごいと思った。
- ・ 初めて高校の紹介などを見聞きして、進路に興味が沸いた。高校によって様々な特色があって面白かった。

マイスター・ハイスクールにおける取組 ～新潟県立海洋高等学校～

海洋高等学校×新潟県教育委員会×糸魚川市×株式会社能水商店

地域産業の持続可能性を実現する活動

地域産業会の全面的な支援（施設や設備利用・実践の場）をもらい、地域の持続可能性を高めるプロジェクトを課題研究で取り組む。

新しい低コスト型鮭放流事業、モズク育成域マップによる取りすぎの抑制、森が豊かな海をつくる保安林の保護育成、究極の循環型食糧生産アクアポニックス、廃棄物削減に向けた水産加工残渣の有効活用などの課題に向き合う。



新商品・新事業の創出、地域産業の活性化

新しい地域産業の立ち上げ「マリンスポーツイベント・海洋レジャー体験サービスの開発による観光誘客」、地域水産資源を活用した新商品開発、地域産業の持続可能性に向けた研究開発「鮭発眼卵放流による漁協の担い手不足や経営改善」を推進。



取組による成果等

私は海洋高校教員を退職・起業し、水産加工会社の経営者として産業界から学校の学習を支援する立場となった。

学校設定科目「地域探究」の新設と各学科・コースの専門性を活かして地域課題解決に取り組む教育プログラムの運用により、海洋高校の学習活動を直接的に地域産業振興に結び付けるとい意思と持続可能性が高まった。

地方における専門高校の存在意義や可能性が今後さらに高まっていくと信じている。



マイスター・ハイスクールCEO
(コーディネート機能を担う)

事業の取組や成果は商工会や観光協会でも話題に挙がることも多く、さらなる連携に向けた機運は産業界でも高まっている。

生徒はもちろん、学校や行政、事業に関わる全員が方向性を共有し、真剣に取組を実行してきた成果だと思う。

この取組が市内ばかりでなく、広域にわたる地域連携の起爆剤となる可能性を感じていると同時に、事業・取組の継続に大きな期待をしている。



産業実務家教員
(観光物産センター)

IT活用を通じてこれからのスマート水産業を学ぶ

水産や海洋における情報技術を座学で学び、実習で地元企業や外部講師の協力を得てIT活用。

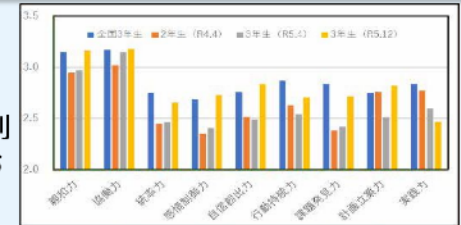
道の駅に「新潟海洋高校アンテナショップ 能水商店」をオープンし、WEBサイトでのオンライン販売と融合。

自らがデジタル変革の推進役になれるよう学びを深めている。



資質・能力を評価するアセスメントテスト実施

「学びみらいPASS」によるアセスメントテストを実施。リテラシー（情報収集力・構想力など）の4つの力の着実な伸長とコンピテンシー（協働力・自信・創出力など）の8つの力の3年次における著しい伸長が確認できた。



毎年多くの県内外生徒が入学し、糸魚川市の地域振興にも寄与している。

海洋高校では「キャリア教育」をはじめ、生徒が市内各地を巡検する「ジオパーク学習」にも取り組むなど、地域や人との関わりにも力を入れている。

今後も生徒が社会の第一線で活躍できる能力を着実に身に着け、未来を担う、時代に対応した人材育成の継続に期待している。



糸魚川市の職員

マイスター・ハイスクールにおける取組 ～滋賀県立彦根工業高等学校～

彦根工業高等学校×滋賀県教育委員会×彦根市×彦根商工会議所

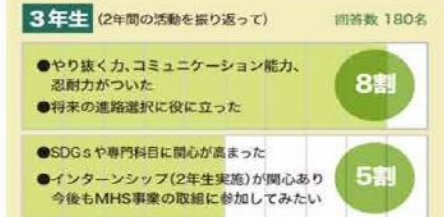
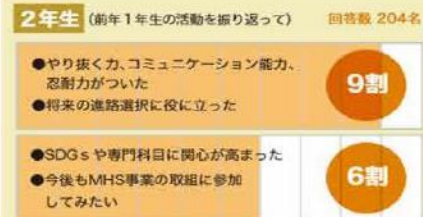
地域企業から匠の技と先端技術を学ぶ

学校設定科目「近江マイスター」において、1年次では**地域企業の先端技術やその専門家の働きを見学**。

2年次では学校設定科目「ブラッシュアップ実習」において、**地域企業や専門家から技術を学ぶ**。

生徒の自己肯定感もアップ

生徒に向けた非認知能力に関する調査において**自己効力感、やり抜く力のスコアが向上**。



本格的に、企業の組織の一員として現場で働く

「ブラッシュアップ実習」の履修者は3年生になると**学校設定科目「プロジェクト実習」(デュアルシステム)を実施。週1日、実際に企業で社内プロジェクトチームのメンバーとして働く**。

「お客さん」ではなく「社員」として扱われ、他のメンバーと協働して、実際の業務の中で提案を行ったり、フィードバックを受ける体験をしている。学校で学んだ知識・技術がどのように社会で使われているのかを理解し、さらにその技術を使うための姿勢や考え方を学習。



取組による成果等

専門高校と企業との関係性が深まり、企業と連携したプログラムを各授業の内容と紐づけて、体系的に学べる仕組みが整った。

生徒にとって、実際に働く現場が必要とされることと学校で学んでいることを結び付けて考える機会となり、**学ぶ意欲の向上につながっている**。

教員が最先端技術や情報に触れる機会が増え、生徒は実社会で学ぶことで、自ら考えて行動する力や挑戦する意欲が高まっている。

デュアルシステムで企業との働く体験が、学校での学びの意味や目的に繋がり、彼らの進路実現に寄与していると感じている。

高校と企業が連携することで、非認知能力が高まることが実証されれば、これからの工業高校としての在り方の一つを示せると考えている。

長期インターンシップやデュアルシステムの受入れは企業にとって負担があったが、現場からも「人工知能の活用など手探りの中、自分の大きな学びにつながった」「外部からの視点で業務改善に直接的に貢献」といった声があり、相互にとって学びのある取組となっている。



マイスター・ハイスクールCEO
(コーディネート機能を担う)



産業実務家教員
(地元企業のエンジニア)



彦根工業高校教諭



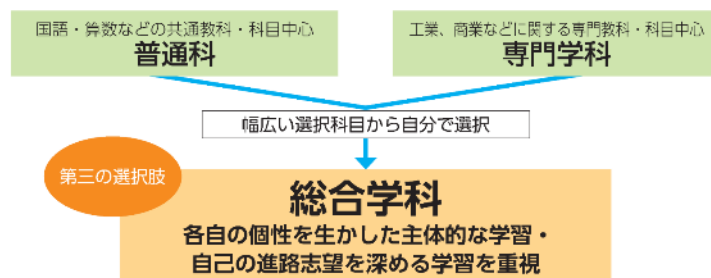
デュアルシステム受入れ企業

説明資料

4 本県県立高校「総合学科」の取組

Q1 総合学科ってどんな学科？

高等学校には、国語、数学などの共通教科・科目を中心に学ぶ普通科と、工業、商業などに関する専門教科・科目を中心に学ぶ専門学科、そして、将来の進路を考え、共通教科・科目と専門教科・科目にわたる幅広い選択科目の中から自分で科目を選択し学ぶ「総合学科」があります。



Q2 総合学科の特色は？

① 将来を見つめ、自分の時間割をつくります。

総合学科にはさまざまな個性をもつ生徒が入学してきます。卒業後の進路希望もさまざまです。総合学科では、生徒が自分の個性を伸ばしたり、進路希望を実現したりできるように、国語や数学といった普通教科・科目をはじめ、情報や福祉などの専門教科・科目がバラエティ豊かに用意されています。そのような多種多様な教科・科目の中から生徒一人ひとりが学習内容を選択し、自分の時間割をつくります。その選択が自分の将来の夢や希望を大きくふくらませたり、自分の得意な分野を伸ばしたりすることにつながります。

② キャリアガイダンスが充実しています。

将来、何をやりたいのかを考え、一人ひとりが自分の時間割をつくる総合学科では、自己の個性を発見したり、将来の生き方や進路を考える学習や指導を大切にしています。そのため、夢の実現に向けて進むべき進路やそのために必要な科目選択について担任の先生と相談するキャリアガイダンスが充実しています。

③ キャリア教育を重視しています。

キャリア教育は「子ども・若者が、社会の一員としての役割を果たすとともに、それぞれの個性、持ち味を最大限発揮しながら、自立して生きていくために必要な能力や態度を育てる教育」を表します。

総合学科では、全ての生徒が原則として入学年次に履修する「産業社会と人間」が、キャリア教育の実践の中心的な役割を担っています。この学習を通じて、地域や産業界等との積極的な連携を図り、多様な他者との関わりの中で自分の将来の生き方や進路について考察し、興味・関心によって職業との関連を深めることができます。

また、実際に企業等で職業体験を行うインターンシップも多くの学校で取り入れています。



④ 自ら課題を見つけ、自ら解決を図ります。

学び方を学び、生涯にわたって学び続ける意欲をもつことができるように、自ら課題を見つけ、自分で調べたり、研究したりして、自分で答えを出す学習を重視しており、総合的な学習の時間において課題研究に積極的に取り組んでいます。

また、研究成果を発表する機会を設けていて、自分の考えを自分の言葉でわかりやすく他の人に伝えるという活動を通して表現力やコミュニケーション能力を育成することも重視しています。



⑤ 地域と連携した様々な取組をしています。

将来、社会において求められる人材となるためには、地域に目を向け、地域から学ぶとともに、自分が地域に対して何ができるかを考えながら自ら主体的に活動することが重要です。総合学科では地域の人々から教わったり、地域に貢献したりするような様々な活動が積極的に行われています。



■ 本県における「総合学科」の現状等

【利点】

- 高校卒業後の進路について、深く学ぶ機会を確保することができる。
- 進路志望等に応じた学習が可能であり、学ぶことの楽しさや成就感を体験できる。
- 主体的な科目履修を通して、生涯学習の基礎が培われる。
- 多様な科目設定のため、少人数指導が可能である。
- コースの設定を生徒のニーズ、学校のスクールポリシーに合わせて、柔軟に設定できる。

【現状】

- 技術革新に伴い、産業界で必要な専門知識や技術は変化していることから、特定の専門分野のみならず様々な分野に関する知識・技術が求められている。
- 総合学科への進学を希望する生徒は減少しており、入学者充足率は近年0.5程度で推移している。

【課題】

- 生徒によっては、2年次からの科目選択が安易な方向に流れることもある。
- 制度として中学生や保護者に分かりにくい点もあり、中学校へのPRに努める必要がある。
- 個別のガイダンスを重視するため、教育相談に多くの時間が必要となる。
- 多様な科目開設のためには、専門性のある非常勤講師等の確保が必要になる。

総合学科の取組事例（県立枕崎高等学校）

枕崎高校「総合学科」の特色

進学にも就職にも対応できる総合学科

1. 選べる8つのコース

令和8年度入学生からよりきめ細やかな支援で、将来の目標・夢をかなえるコースになります。将来の進路を拓く！目標達成を応援する2つのコース、あなたの個性を伸ばす！専門分野を深く学ぶ4つのコース、社会で役立つ力を身につける！商業系の2つのコースがあります。

2. 充実したガイダンス

1年次には「産業社会と人間」という科目で、1年かけてじっくり職業や進路について学習します。また、その他にも進路学習や各種のガイダンスが充実しており、将来の進路を視野に入れた科目の選択ができるよう、強力にサポートします。

3. 充実した学習環境

総合学館には学年単位で一斉に利用できる「多目的ホール」や「トレーニングルーム」などの設備があります。また、タブレット端末の1年生全員への貸し出しや一人一台で実習できる情報処理室が2つあり約80台のパソコンが整備されています。そして、教室にはエアコンが設置され、集中して学習に取り組める環境が整っています。



トレーニングルーム



パソコン実習室

枕崎高校総合学科

キャリア教育・探究学習

3年：卒業研究(地域探究)など

2年：インターンシップ・企業プロジェクト

1年：職場・上級学校見学など

わかりやすい授業

多様な選択コース

習熟度指導

少人数指導

選択8コース

大学進学等を目指す
2コース

専門分野を深く学ぶ
4コース

ビジネススキルを身につける
2コース

地域貢献

地元への進学・就職

部活動

地域行事への参加

ボランティア

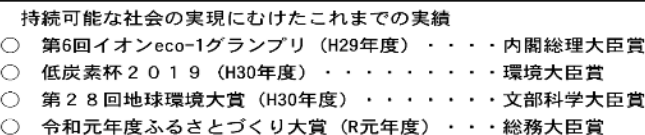
生徒一人ひとりの進路目標の実現

開発構想

育成する人材像

～地域を愛し、地域を守る 未来の人材育成プロジェクト phase one～

求める 資質 主体性 協働性 **求める 能力** 創造力 課題発見力 課題解決力 企画・提案力 発信力



学校全体の生徒数（令和6年4月1日現在）

学 科		1 年	2 年	3 年	計
総合学科		5 1	4 5	3 8	1 3 4
農業科	農業科学科	1 6	1 2	1 2	4 0
	食品技術科	1 2	1 7	1 5	4 4

2 1 8



総合学科（熊本県立翔陽高等学校）

■総合学科とは

- ・普通科…5教科(国数英理社)を中心に学ぶ。
- ・専門学科…農業、工業、水産、家庭、看護、情報、福祉、理数、体育、音楽、美術、外国語、国際等の専門科目も学ぶ。
- ・総合学科…普通科と専門学科両方の要素を併せ持つ。幅広い選択科目から自分で選択して学ぶことができる。
 - *個性を生かした主体的な学習・自己の進路希望を深める学習を重視
 - *翔陽高校:100を超える選択科目あり。2年次から系列(農業、工業、商業、家庭、普通)ごとの選択ができる

■成果（翔陽高校）参考：R5.12月調査

- ・科目選択の自由度が高い → 就職から進学まで幅広い進路希望に対応したカリキュラム編成可能
- ・探究的な学習をカリキュラムの中核に → キャリア教育
科目「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」

★ 近年の入試倍率 → 前期選抜(R7:2.53 R6:2.54 R5:2.58) 後期選抜(R7:1.41 R6:1.36 R5:1.54)

■課題（翔陽高校）参考：R5.12月調査

- ・履修希望者数によって職員の業務量が左右され、調整しづらい 希望者ゼロで開講しない科目もあれば、2クラス必要になる科目も
- ・選択科目を充実させるための教員確保

説明資料

5 その他

単位制高校の状況（全国・公立・学校数）

出典（学校基本調査）

単位制 学校数	全日制 (就業年限 3 年)		定時制 (就業年限 3 年)		定時制 (就業年限 4 年)	
	H16	R6	H16	R6	H16	R6
北海道	9	60	0	0	1	2
青森県	5	9	7	4	10	5
岩手県	6	6	0	1	1	3
宮城県	8	14	0	0	2	5
秋田県	3	9	1	2	4	5
山形県	9	24	0	0	5	6
福島県	10	16	1	1	2	3
茨城県	9	23	1	1	0	7
栃木県	5	15	0	2	0	8
群馬県	6	11	0	0	1	2
埼玉県	12	30	2	5	4	9
千葉県	5	26	2	1	1	16
東京都	10	23	2	0	6	17
神奈川県	20	29	1	0	4	13
新潟県	9	14	0	0	7	9
富山県	3	7	3	1	4	4
石川県	11	12	0	0	8	6
福井県	1	4	2	1	0	6
山梨県	7	11	0	0	9	7
長野県	2	13	0	2	2	4
岐阜県	7	30	4	5	8	9
静岡県	6	13	0	1	1	3
愛知県	3	21	1	1	4	6
三重県	13	16	0	0	9	8

単位制 学校数	全日制 (就業年限 3 年)		定時制 (就業年限 3 年)		定時制 (修業年限 4 年)	
	H16	R6	H16	R6	H16	R6
滋賀県	5	8	1	1	2	5
京都府	3	12	2	3	2	5
大阪府	13	30	3	11	4	21
兵庫県	16	29	0	2	3	6
奈良県	2	4	0	0	1	1
和歌山県	9	6	1	2	3	3
鳥取県	6	13	4	4	0	0
島根県	4	7	0	0	0	2
岡山県	9	29	5	3	3	5
広島県	18	12	3	5	22	12
山口県	12	27	0	1	1	3
徳島県	7	12	1	2	0	2
香川県	2	3	1	2	1	6
愛媛県	3	3	0	0	3	3
高知県	6	9	2	2	1	13
福岡県	7	7	0	1	2	4
佐賀県	4	8	0	0	7	6
長崎県	7	12	2	1	1	2
熊本県	2	5	0	4	1	7
大分県	4	8	0	1	0	2
宮崎県	3	4	2	2	4	3
鹿児島県	1	1	1	1	0	0
沖縄県	4	4	1	0	7	7
計	326	689	56	76	161	281

単位制高校の状況（九州・設置学科） ※ 各県教育委員会事務局への聞き取り（令和7年7月）

	全日制	定時制
福岡県	普通科，総合学科	普通科，情報科学科
佐賀県	普通科，芸術科，総合学科	普通科，機械科，電気科， デザイン科，セラミック科， 商業科，情報科，総合文化科
長崎県	普通科，水産学科，総合学科	普通科，商業科
熊本県	普通科，探究科，農と食の科学科， 緑と水の科学科，情報処理科， 総合ビジネス科，社会福祉科， 総合学科，普通総合学科	普通科，機械科，電気科，建築科， 商業科，情報科学科，総合学科
大分県	普通科，商業科， グローバルコミュニケーション科， 総合学科	普通科，商業科
宮崎県	総合学科	普通科，機械科，電気科，建築科， 商業科
鹿児島県	普通科，福祉科	普通科，オフィス情報科
沖縄県	普通科，みらい福祉科，総合学科	普通科，農業科，機械科，電気科， 商業科



Check!

鹿児島県公立高校検索ガイド



県教委では、公立高校の魅力的な取組を中学生やその保護者、地域の方々などに知ってもらい、中学校やその保護者から選んでもらえる高校づくりにつなげるため、県内全ての公立高校68校の情報を一つに集約したポータルサイトを開設しました。



検索ガイドはこちらから→

LET'S FIND THE HIGH SCHOOL YOU WANT TO GO TO!

- 学区(エリア)で検索
- 制服で検索
- 学校紹介動画で検索
- 学校案内(ガイドブック)で検索
- 学科・コースで検索
- スクールミッションで検索
- 県外(海外)から受検する皆さんへ

各学校のパンフレット、学区や学科、制服紹介、学校紹介ショート動画など、充実した検索メニューから本県の公立高校の新しい情報を得ることができます。

進路選択に役立つ情報は
高校教育課公式SNSにも掲載中!

